施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策№	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策№	5-2	施策名	生涯学習の充実	施策主管課長名	小林　隆浩
関係課	生涯学習課					

1．施策の目的

対象	意図
A 地域 B 町民	A 町民が生涯学習に参加する機会を継続して提供している B 日頃から自主的学習に取り組んでいる

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 生涯学習講座に参加している町民の割合（増加）（現状値：H30時点）	%	37.7	37.8	37.8	37.9	37.9	38
				26.7	32.6	34.6	36.4	35.8
②	B 目標を持って学習を行っている町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	40.0	39	39.5	41	41.5	42
				30.4	30.1	34.1	32.1	33.2
③								
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、毎年度上昇傾向にあったが、令和7年度は対前年度比0.6ポイント下回り、令和７年度の目標値に対して2.2ポイント達しなかった。 青少年体験講座において、指導体制の見直しに伴う講師確保の調整がつかなかった影響により、前年度と比較して参加者数が減少したことが1つの要因と考えられる。
②	計画期間における実績値は、一時的な低下を挟みながらも全体としては上昇傾向となったが、毎年度目標値には届かず、令和７年度は対前年度比で1.1ポイント上回ったものの目標値に8.8ポイント達しなかった。 継続した生涯学習事業の展開により、住民の学習意欲の向上が一定程度進み実績値が上昇傾向になっているものと推察される。一方で、従来の取組だけでは町民のライフスタイルや学習ニーズを十分に捉えきれておらず、目標値に達しなかったものと考えられる。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・地域学校協働本部事業は、地域と学校の連携強化のもと学習支援員や部活動支援員等の新たな人員の掘り起こしに取り組んだ結果、「学校の応援団」として各学校からの支援要請に応じることができた。
・生涯学習の各講座において、参加者からのアンケート調査を継続的に実施し学習ニーズを一定程度捉えることができたことで、学習内容の魅力の向上が図られ、併せて積極的に広報に取り上げたことにより情報発信の充実につながった。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、生涯学習・スポーツの充実（施策４-２）に引き継がれる。
町民の多様化・高度化する学習意欲に応えるため、継続的に参加者へのアンケート調査を実施して学習ニーズを的確に把握するとともに、庁内関係機関との連携及び多様な広報媒体を活用した学習機会・内容の情報提供に努める。
また、家庭の教育力向上に向け、親子が共に学ぶ家庭教育講座や図書館におけるブックスタート事業等の取組を継続する。
地域学校協働本部事業については、ボランティアの掘り起こしをさらに積極的に行い、学校・家庭・地域が連携して地域全体で子どもを育む体制のさらなる充実に努める。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4439	公民館活動事業	2,096	拡充	現状維持	②生産性改善	○
2	5260	生涯学習センター活動事業	3,050	拡充	縮小	④協働化改善	
3	5271	生涯学習振興事業	790	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5287	生涯学習運営事業	1,015	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	15575	図書館管理運営事業	8,978	現状維持	縮小	③効率性改善	○
6	15771	生涯学習センター施設管理事業	243,296	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	15851	複合文化施設運営管理事業	5,429	拡充	現状維持	②生産性改善	
8	17686	地域学校協働本部事業	6,754	拡充	現状維持	②生産性改善	○